

「新晴れの国おかやま生き生きプラン(仮称)」について

1 骨子概要

第1章 基本的な考え方

1 県政の基本目標

「生き生き岡山」の実現を引き続き県政の基本目標とし、その達成に全力で取り組む。

2 基本目標の実現に向けて

- (1) 自立と連携・協働
- (2) 県民の要請に応える行財政経営

3 プランの性格等

- (1) 長期構想
 - ・ 2030年頃を展望
 - ・ 県民局毎の地域別構想
- (2) 行動計画
 - ・ 今後4年間に重点的に取り組む戦略や施策を盛り込んだ計画
 - ・ 平成29年度(2017年度)～平成32年度(2020年度)の4年間

第2章 岡山の将来像(長期構想)

1 時代の潮流と課題

- (1) 社会構造の変化
- (2) 安全・安心の重要性
- (3) 潤いのある生活の重視
- (4) 地方分権の進展と県と市町村との連携の推進

2 岡山の発展可能性

3 2030年頃の目指すべき岡山の姿

- (1) すべての県民が明るい笑顔で暮らす岡山
- (2) 中四国の拠点として、グローバルに発展する岡山

4 地域別構想

第3章 行動計画

- ・ 3つの重点戦略の下に17の戦略プログラム
- ・ おかやま創生推進連携プロジェクト

第4章 プランの進め方

- 1 顧客重視の視点に立った県政の推進
- 2 さまざまな主体との連携・協働
- 3 職員意識の改革と組織経営の改善
- 4 政策評価等によるPDCAサイクルの実施

○行動計画

重点戦略Ⅰ 教育県岡山の復活

<戦略プログラム>

- 1 学力向上プログラム
- 2 徳育推進プログラム
- 3 グローバル人材育成プログラム【新】

重点戦略Ⅱ 地域を支える産業の振興

<戦略プログラム>

- 1 企業誘致・投資促進プログラム
- 2 企業の「稼ぐ力」強化プログラム
- 3 観光振興プログラム
- 4 攻めの農林水産業育成プログラム
- 5 働く人応援プログラム

重点戦略Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造

<戦略プログラム>

- 1 保健・医療・福祉充実プログラム
- 2 結婚・妊娠・出産応援プログラム【新】
- 3 子育て支援充実プログラム
- 4 防災対策強化プログラム
- 5 暮らしの安全推進プログラム
- 6 中山間地域等活力創出プログラム
- 7 快適な生活環境保全プログラム
- 8 生きがい・元気づくり支援プログラム
- 9 情報発信力強化プログラム

おかやま創生推進連携プロジェクト【新】

- 人口減少ストッププロジェクト
- 持続的発展プロジェクト
 - ・ 地域の経済力確保プロジェクト
 - ・ 地域の活力創出プロジェクト

2 今後のスケジュール

- | | |
|--------------|----------------|
| 平成28年 7月15日～ | 市町村及び関係団体等意見聴取 |
| 平成28年11月 | 素案公表、パブリックコメント |
| 平成29年 3月 | 策定 |

新晴れの国おかやま生き生きプラン（仮称）

骨 子

平成28年7月

岡 山 県

目 次

第1章 基本的な考え方	1
1 県政の基本目標	1
2 基本目標の実現に向けて	1
3 プランの性格等	1
第2章 岡山の将来像(長期構想)	2
1 時代の潮流と課題	2
2 岡山の発展可能性	2
3 2030年頃の目指すべき岡山の姿	3
4 地域別構想	3
第3章 行動計画	5
第4章 プランの進め方	24
1 顧客重視の視点に立った県政の推進	24
2 さまざまな主体との連携・協働	24
3 職員意識の改革と組織経営の改善	24
4 政策評価等によるPDCAサイクルの実施	24

第1章 基本的な考え方

1 県政の基本目標

「生き生き岡山」の実現を引き続き県政の基本目標とし、その達成に向けて全力で取り組みます。

2 基本目標の実現に向けて

(1) 自立と連携・協働

分権型社会の基本原則である「自己決定・自己責任」と、地方と国との「対等・協力」関係を踏まえ、創意工夫を凝らしながら、「自立」した個性と魅力にあふれる豊かな地域づくりを目指します。

また、市町村と緊密な連携を図り、「生き生き岡山」の実現に向け、地域課題の解決に取り組みます。

さらに、多様化する行政ニーズに適切に対応するため、県民、ボランティア・NPO、企業、大学など、さまざまな主体と目標を共有し、その実現に向かって「協働」しながら、活力ある地域づくりに取り組みます。

(2) 県民の要請に応える行財政経営

「顧客重視」、「コスト意識」、「スピード感」の3つの視点を持って不断の改革・改善に取り組み、県民の要請に応える、効率的、効果的な行財政経営を行います。

3 プランの性格等

プランの性格等は、県政の最上位に位置付けられる総合的な計画として、長期構想と行動計画の二つの性格を併せ持つものとします。

(1) 長期構想

- ・ 将来目指すべき岡山の姿を明らかにする長期的な構想
- ・ 2030年頃を展望
- ・ 県民局毎の地域別構想

(2) 行動計画

- ・ 長期構想の実現に向けて今後4年間に重点的に取り組む戦略や施策を盛り込んだ計画
- ・ 平成29年度(2017年度)から平成32年度(2020年度)までの4年間

第2章 岡山の将来像(長期構想)

1 時代の潮流と課題

(1) 社会構造の変化

- ・本格的な人口減少・超高齢社会の到来
- ・中山間地域を取り巻く状況
- ・地方創生の推進
- ・グローバル化の進展と新たな変革への対応

(2) 安全・安心の重要性

- ・大規模自然災害発生リスクへの対応
- ・犯罪・事故のない暮らしへの要請
- ・環境問題への対応の必要性

(3) 潤いのある生活の重視

- ・生活の質を重視し心の豊かさを求めるニーズの高まり
- ・移住人気の高まり
- ・多様な主体による公共サービスの質の向上

(4) 地方分権の進展と県と市町村との連携の推進

- ・地方分権改革の進展
- ・県と市町村との連携の推進
- ・広域的な行政課題の増加

2 岡山の発展可能性

- ・ひと・ものが行き交う優れた拠点性
- ・温暖な気候と自然環境に恵まれた「晴れの国」
- ・他地域と比較して低い地震災害発生リスク
- ・ものづくりをはじめとした優れた産業集積
- ・国内外に誇る高品質な農林水産物
- ・恵まれた観光資源
- ・豊かな伝統文化とスポーツに親しめる環境
- ・充実した教育環境
- ・高い医療水準と充実した医療環境
- ・福祉の伝統と地域活動等の先進性

3 2030年頃の目指すべき岡山の姿

(1) すべての県民が明るい笑顔で暮らす岡山

- ・子どもたちが規律を守って伸び伸びと学んでいる地域
- ・犯罪や事故のない健やかなコミュニティ
- ・みんなが主役となる参画社会
- ・次代を担う若い世代が安心して子どもを産み育てやすい地域
- ・豊かさを実感できる便利で活力のある地域

(2) 中四国の拠点として、グローバルに発展する岡山

- ・旺盛なチャレンジ精神と地域挙げての支援
- ・岡山の強みが活かされ、経済活動が活発化している地域
- ・国内外に確立した「岡山ブランド」
- ・広域連携の推進
- ・人々が集う国内外の交流センター

4 地域別構想

備前地域

(1) 将来の姿 —活力あふれ、明るく笑顔で暮らせる備前地域—

- ひと・ものが行き交う、元気で力強い備前地域
- 安心して愛着を持って住み続けたい備前地域

(2) 政策展開の方向性

- 備前地域を売り込む産業の振興
 - ・地域の特色を生かした産業への支援
 - ・売れるものづくりの推進
 - ・攻めの農林水産業の育成
 - ・「備前発」広域観光の振興
- 安心して豊かさが実感できる備前地域の創造
 - ・健康で生きる喜びを感じられる長寿社会の実現
 - ・子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりの推進
 - ・災害に強い地域づくりの推進

備中地域

(1) 将来の姿 —夢と元気にあふれ、安心して暮らしやすい備中地域—

- 夢と元気にあふれる備中地域
- 安心して暮らせる豊かな備中地域

(2) 政策展開の方向性

- 備中地域ならではの産業モデルの構築
 - ・地域特性を生かした産業の振興
 - ・地域資源を生かした観光の振興
 - ・担い手の確保・育成と「儲かる農業」の実現
- 備中地域ならではの地域モデルの構築と社会基盤の整備
 - ・多様な主体との連携や交流による中山間地域や離島の活性化
 - ・保健・医療・福祉体制の充実と子育て環境の整備
 - ・防災力と防犯力の強化
 - ・備中地域の文化遺産の継承と活用

美作地域

(1) 将来の姿 —潤いとやすらぎ、にぎわいと活力あふれる美作地域—

- 潤いとやすらぎ、にぎわいのある美作地域
- 活力あふれる美作地域
- 安心して生き活きと暮らせる美作地域

(2) 政策展開の方向性

- 美作地域の特色ある農林業の振興
 - ・中山間地域農業の振興と就農者の確保・育成
 - ・特色ある畜産物の生産振興
 - ・鳥獣害防止対策の推進と獣肉等の利活用
 - ・美作材の需要拡大と林業の振興
- 美作地域の資源を生かした産業の振興
 - ・発展につながる産業の創出
 - ・地域一体となって取り組む観光振興
- 人々のつながりの中で生き活きと暮らせる「美作国」
 - ・集落機能の維持と交流や移住・定住の促進
 - ・誰もが安全で生き活きと生活できる地域づくり
 - ・文化とスポーツの振興

第3章 行動計画

行動計画には、「教育県岡山の復活」、「地域を支える産業の振興」、「安心して豊かさが実感できる地域の創造」の3つの「重点戦略」を掲げ、その下に17の「戦略プログラム」を配置するとともに、おこやま創生を加速するため、「おこやま創生推進連携プロジェクト」を掲げています。

【行動計画の構成】

重点戦略Ⅰ 教育県岡山の復活

- 1 学力向上プログラム
- 2 徳育推進プログラム
- 3 グローバル人材育成プログラム【新】

重点戦略Ⅱ 地域を支える産業の振興

- 1 企業誘致・投資促進プログラム
- 2 企業の「稼ぐ力」強化プログラム
- 3 観光振興プログラム
- 4 攻めの農林水産業育成プログラム
- 5 働く人応援プログラム

重点戦略Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造

- 1 保健・医療・福祉充実プログラム
- 2 結婚・妊娠・出産応援プログラム【新】
- 3 子育て支援充実プログラム
- 4 防災対策強化プログラム
- 5 暮らしの安全推進プログラム
- 6 中山間地域等活力創出プログラム
- 7 快適な生活環境保全プログラム
- 8 生きがい・元気づくり支援プログラム
- 9 情報発信力強化プログラム

おこやま創生推進連携プロジェクト【新】

各戦略プログラムに盛り込む「生き生き指標」に加え、生き生き岡山の実現の進捗状況を確認する上で参考とする「参考指標」を設けます。

【参考指標例】

- ・ 1人当たりの県民所得
- ・ 一般労働者の1人当たり現金給与月額
- ・ 健康寿命

■戦略プログラムの概要

重点戦略Ⅰ 教育県岡山の復活

① 学力向上プログラム

【概要】

子どもたちの生活習慣や学習習慣等の改善、学習環境の整備、教員の指導力の向上を進めた結果、授業エスケープや学級崩壊については改善傾向にあり、また、全国学力調査の結果から、小学校では算数の基礎基本を中心に一定の成果が現れてきています。

一方で、小学校における不登校の出現割合は、全国と比べて依然として高く、長期欠席児童生徒は増加しており、また、中学校における学力状況は依然として厳しい状況にあります。

不登校を含め、長期欠席児童生徒への早期からの未然防止策を推進するとともに、授業規律の確立や学習意欲の高揚、一人ひとりの学習状況の的確な把握、授業改善の一層の推進、学習習慣の確立に向けた取組の充実を図ります。

【主な生き活き指標例】

- 全国学力・学習状況調査(平均正答率)の全国順位
- 小・中・高等学校における不登校の出現割合
- 保幼小接続カリキュラムを作成した市町村数【新】
- 「授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合
- 授業以外で平日に1時間以上学習する生徒の割合

【主な施策例】

- 子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備
- 就学前教育の充実と小学校教育への円滑な接続の推進【新】
- 教師の教える技術の向上
- 子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり
- キャリア教育の推進【新】

② 徳育推進プログラム

【概要】

いじめや暴力行為等への対応、道徳教育や体験活動の充実、ボランティアなどの社会貢献活動等の推進により、暴力行為の発生割合は減少傾向にあり、また、子どもたちの規範意識や集団・社会の一員としての意識の高まりが見られます。

一方で、暴力行為は全国と比べ依然として高い状況にあるなど、子どもたちの規範意識のさらなる向上が必要です。

課題の大きい学校への重点的支援の充実など、状況に応じた対策を進めるとともに、道徳教育に関わる教員の指導力の向上や、社会貢献活動等を通じて、規範意識や自尊感情、思いやりの心、生まれ育った郷土への愛着や誇りを持った子どもたちを育成します。

【主な生き生き指標例】

- 「近所の人に会ったときはあいさつをしている」と回答した生徒の割合
- 小・中・高等学校における暴力行為の発生割合
- 非行率
- 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒の割合
- 1週間の総運動時間数が60分未満の児童生徒の割合

【主な施策例】

- 道徳教育の充実による規範意識の確立
- 暴力行為等への対策の推進
- 青少年の健全育成・非行防止対策の推進
- より良い社会づくりに参画する人材の育成【新】
- 健やかな体の育成

③ グローバル人材育成プログラム【新】

【概要】

グローバル化や情報通信技術の発展に伴い、ひと・もの・金・情報やさまざまな文化・価値観が国境を越えて流動化し、国際競争も一層激化しており、そうした中、G7倉敷教育大臣会合においても、教育の果たすべき新たな役割、教えや学びの向上等が確認されました。また、国内では、人口減少社会の到来により、地方創生が強く求められています。

このため、日本人としてのアイデンティティを持ち、豊かな語学力・コミュニケーション能力、チャレンジ精神や異文化を理解する精神を有し、さまざまな分野で主体的に活躍するとともに、本県の持続的発展に貢献するグローバル人材を育成します。

【主な生き活き指標例】

- 県立高等学校における高校生の留学者数【新】
- 英検準1級以上等を取得している英語教員の割合【新】
- 国際科学コンテスト（理科4分野）における国内大会の参加者数【新】
- プログラミングコンテストにおける参加団体数【新】

【主な施策例】

- グローバル化に対応した教育の推進
- 科学技術教育の推進
- 情報化社会に対応した教育【新】
- 魅力ある学校づくり【新】

① 企業誘致・投資促進プログラム

【概要】

本県の優れた操業環境に加え、優遇制度の新設・拡充、規制緩和などにより、企業の誘致と既立地企業の投資を支援し、地域経済の活性化と雇用の創出を図ってきました。

一方、企業が立地決定する際の人材確保や、人気の高い県南内陸部やアクセスに優れたインターチェンジ周辺部での産業用地不足が課題となっています。

このため、企業ニーズにきめ細かく対応した支援の充実や立地環境の整備を進めることにより、外資系企業も対象に、生産・雇用の誘発効果が期待できる企業を幅広く誘致するとともに、水島コンビナートなど本県経済を牽引する企業の投資を一層促進します。

【主な生き生き指標例】

- 企業立地件数
- 新規立地企業の雇用創出数
- 全国の製造品出荷額等に占める水島工業地帯の割合
- 水島港における国際コンテナ取扱個数

【主な施策例】

- 戦略的誘致施策の推進【新】
- 国内拠点化に向けた投資の促進【新】
- 水島コンビナートの国際競争力強化
- 本社機能の移転・支店等の拠点設置の促進【新】
- 水島港の機能強化

② 企業の「稼ぐ力」強化プログラム

【概要】

県内企業の 99.8%を占める中小企業は、地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を果たしており、これまで、経営革新、技術開発、販路拡大等に取り組む企業を支援してきました。

引き続き、中小企業の持続的な成長・発展に向け、経営革新の取組や技術開発力の向上、産学官連携による研究開発を支援するとともに、中堅企業の底上げやベンチャー企業の育成を推進します。

さらに、I o T、グローバル化など新たな技術や課題への対応、人材の育成等が必要となってきたことから、これらにチャレンジする企業を支援し、生産性の向上や産業の高付加価値化を通じて、企業の「稼ぐ力」の向上を図ります。

【主な生き生き指標例】

- 従業員数 100 人以上の製造業事業所数【新】
- 経営革新に取り組む中小企業数
- 県内企業とプロフェッショナル人材とのマッチング成約件数【新】
- 産学官共同開発プロジェクトに取り組んだ企業数

【主な施策例】

- 地域を担う元気な企業の成長・発展支援【新】
- 企業を支える産業人材の育成・確保【新】
- 地域産業の活性化
- ベンチャー企業の育成支援
- 新たな市場を切り開く新技術・新製品の開発

③ 観光振興プログラム

【概要】

デスティネーションキャンペーンなどの機会を活用し、多様化するニーズに即した観光振興の取組を進めた結果、国内外から本県への観光客が増加し、観光消費額も伸びてきました。こうした流れをさらに加速させるためには、本県の認知度を一層向上させ、経済的な効果を高めていくことが必要です。

このため、観光客の増加に向け、積極的に観光情報を発信して認知度向上を図るほか、観光客の県内での滞在時間の延長につながる取組を進めることにより、観光消費の一層の拡大を図ります。

また、本県を含む広域エリアの多様な主体と連携した取組を進めることで、誘客拡大を図るとともに、さらなるインバウンドの拡大に向けて、国や地域の特性に応じた魅力発信や外国人受入環境の充実に取り組めます。

【主な生き生き指標例】

- 観光消費額
- 観光入込客数
- 延べ宿泊者数
- 外国人旅行者宿泊者数

【主な施策例】

- 岡山を満喫する滞在型観光の推進【新】
- 多様な主体と連携した広域観光の推進
- さらなるインバウンドの拡大と航空ネットワークの拡充
- 岡山後樂園の魅力づくり

④ 攻めの農林水産業育成プログラム

【概要】

本県を代表する農産物である桃やぶどうのマーケティングやブランディングに取り組んだ結果、首都圏市場での販売やアジアへの輸出は大きく伸びています。

一方で、高齢化に伴って担い手が減少し、耕作放棄地が増加するなど、本県の農林水産業を取り巻く環境は厳しい状況にあり、TPP協定発効による影響も懸念されます。

このため、消費者ニーズに対応した高品質な農林水産物のブランド確立に向けた取組を一層推進するとともに、担い手の確保・育成や農業生産基盤の整備など、供給体制の強化を図ることにより、儲かる産業としての農林水産業の確立を目指します。

【主な生き生き指標例】

- 農林水産業産出額
- 県産果物の販売金額等（首都圏・海外）【新】
- 水稻作付面積 10ha 以上の経営体数【新】
- 新規就農者数
- 県産材の生産量【新】

【主な施策例】

- マーケティングの強化とブランディングの推進
- 海外でのブランド確立による輸出促進
- 白桃の供給力の強化【新】
- 次代を担う力強い担い手の育成
- 県産材の需要拡大と林業収益性向上対策の推進

⑤ 働く人応援プログラム

【概要】

県内産業を支える人材を確保するため、就職面接会や職業訓練等を実施し、就職に結びつけてきましたが、人口減少と高齢化が一層進む状況の下で、本県の経済を維持・発展させていくためには、社会が求める「ひと」の還流と定着が必要となります。さらに、持続可能な社会をつくる観点からは、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現が求められています。

このため、県内外の新規学卒者など若者の県内就職を支援するほか、若者の職業意識の醸成や就職後の定着、プロフェッショナル人材等の県内への還流と定着を促進します。また、働く人一人ひとりが働きやすい職場環境づくりを進め、多様で柔軟な働き方を可能にすることによって、女性や高齢者など誰もが適性と能力に応じて活躍できる社会の実現を目指します。

【主な生き生き指標例】

- 県内大学新卒者の県内就職率【新】
- 大学卒業者の3年以内離職率【新】
- 1人当たり年間総実労働時間【新】
- 女性の生産年齢人口に対する常用労働者の割合

【主な施策例】

- 若者の県内定着を進める就職支援【新】
- 県内企業の発展を担う「ひと」の還流・定着の支援【新】
- 仕事と生活の調和に配慮した多様な働き方の推進【新】
- 男女の均等な雇用機会等の確保と女性の活躍推進

重点戦略Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造

① 保健・医療・福祉充実プログラム

【概要】

超高齢社会に対応するため、地域医療構想を策定し、医療の機能分化や医療・介護の連携に取り組むとともに、市町村の地域包括ケアシステム構築や健康増進活動への支援などに取り組んでいます。

人口減少と高齢化が同時に進行する中、社会経済の活力低下や、年金、医療、介護の社会保障費の増大などへの対応が必要になります。

このため、医療・福祉施設の整備や、医療・介護従事者の育成・確保、県民をはじめボランティア、NPO、関係機関などと連携した支え合いの地域の構築などを通じ、サービス提供体制の整備を進めるとともに、食生活等の生活習慣の改善指導などに取り組み、県民誰もが良質な保健・医療・福祉サービスが受けられ、住み慣れた地域で安心して自立して暮らせる社会の実現を目指します。

【主な生き生き指標例】

- 成人の喫煙率
- リビングウィル（最期まで自分らしく生きるための意思表示を行う文書）を作成している県民（60歳以上）の割合【新】
- 県北医療圏における医師数
- 福祉人材センターが関わった介護施設等への就職者数【新】

【主な施策例】

- 心と体の健康づくりの推進
- 地域包括ケアの推進等
- 福祉・介護の人材確保とサービスの質の向上
- 障害のある人の自立と社会参加の促進
- 地域における医療提供体制の整備

② 結婚・妊娠・出産応援プログラム【新】

【概要】

おかやま出会い・結婚サポートセンターの設置や、妊孕性（妊娠のしやすさ）の普及啓発、周産期母子医療推進センターを中心とした産科医療機関の役割分担と連携などにより、安心して妊娠・出産ができる体制づくりに取り組んでいます。

しかし、「県民意識調査」では、「適切な相手にめぐり合わない」ことが結婚しない理由の第1位となっているほか、理想の子ども数(2.73人)と予定する子ども数(2.35人)には差が生じていることなどから、出会い、結婚、妊娠・出産への支援に計画的に取り組む必要があります。

このため、個人の自由な選択にも配慮しながら、市町村、学校、企業などの多様な主体と協働し、ライフステージに従って切れ目なく、若い世代の出会い、結婚、妊娠・出産の希望がかなう環境づくりを推進します。

【主な生き生き指標例】

- 合計特殊出生率【新】
- おかやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数【新】
- 妊娠・出産について満足している者の割合【新】
- 妊娠と年齢の関係について正しく知っている者の割合【新】

【主な施策例】

- 社会全体で結婚、妊娠・出産、子育てを応援する気運の醸成【新】
- 結婚支援の推進【新】
- 切れ目ない母子保健等の推進
- 周産期・小児医療対策の充実

③ 子育て支援充実プログラム

【概要】

多様化する保育ニーズに対応するため、延長保育や病児保育など各種子育て支援策を推進し、子育て環境の整備に取り組んでいます。

しかし、核家族化の進行、子育て家庭の孤立化などによる不安感、負担感の増大や、待機児童数の増加、子どもの虐待や貧困など、安心して子どもを産み育てるには、なお、複雑、困難な多くの課題があります。

このため、市町村、学校、企業、関係団体など、多様な主体と協働し、さらなる保育の充実や、相談・医療体制等の整備、子育て家庭への支援等を行い、誰もが安心して子育てできる環境の充実を図ります。

【主な生き生き指標例】

- 放課後児童クラブ実施箇所数【新】
- 病児保育の実施市町村数【新】
- 「おかやま子育て応援宣言企業」登録企業・事業所数
- 子育て支援員（保育・地域子育て支援拠点従事者）育成数【新】

【主な施策例】

- きめ細かな保育の充実
- 子育てを支援する人材の確保【新】
- 子育てしやすい社会環境の整備
- 子育て家庭への支援【新】
- 児童虐待防止対策の推進

④ 防災対策強化プログラム

【概要】

あらゆる災害から人命を守ることを最優先に、災害時にはまず自らの命を守る行動の重要性の周知や地域の防災活動への支援等を推進した結果、防災メール登録件数や自主防災組織率が着実に向上しています。

南海トラフ地震や激甚化する風水害などに備え、県民の防災意識をさらに高め、市町村、自主防災組織、事業者等と連携して、地域社会の変化に対応した地域防災力の強化を図る必要があります。

引き続き、自助、共助、公助の観点に立って、ハード・ソフトを適切に組み合わせ、計画的に県域の強靱化に取り組むことにより、県民が安心して住み続けることのできる災害に強い地域づくりを進めます。

【主な生き生き指標例】

- 防災メールの登録件数
- 自主防災組織率
- 業務継続計画策定市町村数【新】
- 護岸等の整備により高潮被害が解消される防護面積及び戸数

【主な施策例】

- 自らの安全は自らで守る取組の促進
- 互いに助け合う取組の促進
- 災害時の即応体制の確立
- 防災施設整備や公共施設等の耐震化の推進

⑤ 暮らしの安全推進プログラム

【概要】

地域住民、ボランティア等との協働による犯罪抑止対策を推進した結果、刑法犯認知件数が戦後最少を更新するなど、治安の改善に向けた一定の成果が現れています。

一方、特殊詐欺被害額が過去最悪となったほか、万引き、自転車の盗難や各種の消費者被害も依然として多発傾向にあります。また、交通事故死者に占める高齢者の割合も高水準で推移しています。

このため、県民総参加による犯罪抑止対策や消費者被害対策、高齢者に重点を置いた特殊詐欺対策及び交通事故防止対策のさらなる深化を図るとともに、県民の安全を脅かす犯罪の徹底検挙、暴力団等犯罪組織の弱体化・壊滅に向けた対策、少年非行防止対策等を推進し、安心して暮らすことができる社会の実現を目指します。

【主な生き生き指標例】

- 刑法犯認知件数
- 重要犯罪検挙率
- 交通事故死者数
- 交通事故負傷者数

【主な施策例】

- 犯罪抑止対策の推進
- 少年非行防止対策の推進
- 交通事故防止対策の推進
- 特殊詐欺対策の推進【新】
- サイバー空間の安全確保に向けた取組の推進【新】

⑥ 中山間地域等活力創出プログラム

【概要】

中山間地域等の集落機能の維持・強化や地域リーダーの育成を進め、地域による自主的な活性化の取組が拡大し、また、本県の魅力発信や相談体制の充実等により、県外からの移住者も増加傾向にありますが、中山間地域等では、依然として人口減少や高齢化が進行するなど、厳しい状況にあります。

このため、伝統、文化、自然といった地域資源を生かした自立的な地域づくりを推進するとともに、地域で安心して暮らし続けることができるよう、日常生活に必要なサービス機能の維持・確保や本県の優位性を生かした移住・定住の促進などにより、みんなで支え合う元気な地域づくりを目指します。

【主な生き生き指標例】

- 小さな拠点の形成に取り組んでいる市町村の数【新】
- 「おかやま元気！集落」の数
- 本県への移住者数【新】
- 地域の拠点性を高めることにつながる交通難所改善箇所数【新】

【主な施策例】

- 生き生き拠点（小さな拠点）の形成促進【新】
- ワカモノ・ヨソモノによる中山間地域等の活力創出【新】
- 集落機能の維持・強化
- 移住・定住の促進
- 地域の生活を支える道づくり【新】

⑦ 快適な生活環境保全プログラム

【概要】

水や大気の保全については、監視・指導に努めた結果、工場や事業場の排水・排ガスの排出基準は高い適合率となっていますが、児島湖の水質など環境基準を達成できていないものもあります。また、温暖化の問題は、地球規模で深刻さを増しているほか、廃棄物については、リサイクルの推進などにより、一層の減量化を図る必要があります。

環境と経済の両立を図りつつ、水、大気、土壌などの環境保全や地球温暖化対策、本県の豊かな自然や優れた景観の保全と活用、身近な生活環境の快適性の向上、循環型社会の形成、空き家対策等により、将来にわたって豊かに生活できる社会の構築を目指します。

【主な生き活き指標例】

- 電気自動車等の普及台数
- 身近な自然体験プログラムの参加者数
- 汚水処理人口普及率
- 家庭系ごみ排出量【新】

【主な施策例】

- 水、大気、土壌などの保全対策の推進
- 花粉の飛散の低減に向けた取組の推進
- 地球温暖化防止に向けた省エネ社会実現への取組の推進
- 循環型社会形成等の推進
- 空き家の適正管理、利活用の推進【新】

⑧ 生きがい・元気づくり支援プログラム

【概要】

トップクラブチームへの応援や国民体育大会での好成績などが、県民に夢と希望、感動を与え、スポーツに関わるきっかけづくりにもつながりました。また、地域資源を活用したアートイベントや市町村が企画するアート事業への支援など、文化の力を活用して地域の活性化が図られるよう取り組んできました。

引き続き、芸術・文化、スポーツに対する県民の満足度を一層高めていくため、東京オリンピック・パラリンピック等の開催も視野に取組を強化していく必要があります。

このため、生涯学習環境の整備や、県民が生きがいを持って活動する機会の拡大、芸術・文化、スポーツ活動の振興を通じ、すべての人が能力を発揮できる、豊かで潤いのある暮らしや活力のある地域の創造を目指します。

【主な生き活き指標例】

○県民満足度等調査「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」に満足又はやや満足と回答した者の割合

○東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの認定件数

【新】

○公立図書館から借りた本の数

【主な施策例】

○文化とスポーツの力を活用した地域の活性化

○東京オリンピック・パラリンピック等を通じた地域活力の醸成【新】

○生涯学習活動の推進

○トップアスリートの育成・強化等の推進

⑨ 情報発信力強化プログラム

【概要】

インパクトのある情報発信を戦略的に推進するとともに、首都圏へのアンテナショップの開設やおかやまマラソンの開催などを通じ、本県の魅力を積極的にアピールすることにより、本県の認知度や県民の愛着度は大きく向上しています。

今後とも、移住・定住の促進、観光誘客、企業誘致、県産品の販路拡大などをより一層進めるためには、本県の知名度をさらに高める必要があることから、首都圏等への情報発信を強力に進めます。

また、県民が本県固有の価値を再認識し、愛着と誇りを持って、その魅力を発信する取組を促進します。

【主な生き活き指標例】

- 全国における本県の認知度
- 本県に関する知識を有すると認定された人数
- 県のPRサイトへのアクセス数
- 県外在住者向け登録サイトへの登録者数

【主な施策例】

- イメージアップ戦略の推進
- 首都圏アンテナショップを「おかやまマーケティング・ラボ」へ【新】
- ポータルサイト等による魅力発信の推進
- 本県に対する愛着心と誇りの醸成の促進
- 海外に向けた魅力発信【新】

おかやま創生推進連携プロジェクト【新】

【概要】

おかやま創生の実現に向け、施策の重点化等を図るとともに、多様な主体と連携し、本県の強みを生かしながら、おかやま創生総合戦略に基づき、各種対策を推進していますが、東京一極集中の傾向は続き、人口減少に歯止めがかかる状況にありません。

このため、戦略プログラムに掲げる重点施策や推進施策との関連性にも留意しつつ、総合戦略に掲げる基本目標に沿って、新たなプロジェクトに取り組めます。

プロジェクトは、それぞれの基本目標の実現につながる政策効果の高い、複数の個別事業で構成し、プロジェクトごとに設置する部局横断的な検討組織（プロジェクトチーム）において、現状分析によるエビデンスなどを踏まえながら、政策間連携のほか、市町村との連携や官民協働などさまざまな主体との連携の視点を取り入れた、新たな事業を検討します。

また、事業の実施に当たっては、地方創生推進交付金や企業版ふるさと納税の積極的な活用も検討します。

【基本目標】

おかやま創生総合戦略に掲げる基本目標の達成が加速することを目指します。

- 若い世代の結婚から子育てまでの希望をかなえる
- 人を呼び込む魅力ある郷土おかやまをつくる
- 持続的に発展できる経済力を確保する
- 地域の活力を維持する

【プロジェクト】

○人口減少ストッププロジェクト

人口の自然減と社会減の双方から、企業との連携や政策間連携などを重視した、より効果的な取組にチャレンジ

○持続的発展プロジェクト

・地域の経済力確保プロジェクト

農業への企業参入や技術革新による生産性の向上をはじめ、新たな視点からの地域のしごとづくりにチャレンジ

・地域の活力創出プロジェクト

地域の特色や資源等を生かした地域価値の向上や、安心して暮らし続けることができる環境整備に向けた取組にチャレンジ

第4章 プランの進め方

プランの推進に当たっては、県民ニーズ等の的確な把握と積極的な情報提供を進めながら、このプランに掲げる目標の達成加速に向け、参画と連携・協働を基調に施策を展開するとともに、施策の成果を検証し、見直しと改善を加えることにより、効率的、効果的な県政運営を行います。

- 1 顧客重視の視点に立った県政の推進
 - ・ 県民ニーズ等の的確な把握
 - ・ 現場主義の徹底
 - ・ 県政情報の積極的な提供
 - ・ 多様な媒体による情報提供、わかりやすい広報活動

- 2 さまざまな主体との連携・協働
 - ・ 市町村との一層の連携強化
 - ・ ボランティア・NPOや企業、大学などとの連携・協働

- 3 職員意識の改革と組織経営の改善
 - ・ 部局横断・官民協働型の政策推進
 - ・ 職員の育成とチャレンジする組織風土の醸成
 - ・ コスト意識の徹底と「カイゼン」の一層の推進

- 4 政策評価等によるPDCAサイクルの実施
 - ・ 数値目標の達成状況や施策・事業の成果を適切に把握
 - ・ 指標の達成度等を客観的に検証する行政評価や県民満足度等調査を実施
 - ・ 選択と集中の観点から施策や事業を見直し